

# 「西山古道」の地図作製

乙訓のNPO「自然散策楽しんで」

西山古道や沿道で観察できる植物を紹介する地図



乙訓地域で活動するNPO法人「京おとくに・街おこしネットワーク」はこのほど、整備を進めているハイキングコース「西山古道」の地図を作製した。沿道に自生する多数の植物を写真付きで紹介しており、散策のシーズンを迎えて「多くの人に西山古道の豊かな自然を楽しんでほしい」としている。

地図は縦52センチ、横38センチの1枚物で、表裏ともカラー刷り。表は国土地理院発行の地図を基に、京都市西京区の善峯寺から長岡京市浄土谷の柳谷観音楊谷寺を経て、同市の深谷川と小泉川の合流地点付近に架かる立石橋までの西山古道を赤い線で示している。

また、善峯寺近くのミカエリソウ群生地や楊谷寺近くのソヨゴ群生地など、どの地点にどのような植物が自生しているかが一目で分かる。道中の展望台からの眺望や白糸の滝（西京区）などの写真

も添付している。裏面にはアセビやコナラ、コアジサイなど沿道に自生している主な植物23種類を写真付きで掲載、特徴や名前由来などを解説している。

1枚200円。乙訓地域の書店などで販売している。問い合わせは同ネットワークの中山さん携帯電話090(5165)8405。

(川越弘太郎)